

令和5年度「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

福島県会津坂下町洲走地区 実態調査報告書



宮城学院女子大学 現代ビジネス学科

宮原ゼミ COLORS

目次

- 1 私たちの団体について
 - 1-1 宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 宮原ゼミ COLORS
 - 1-2 応募理由

- 2 会津坂下町洲走地区
 - 2-1 会津坂下町 基本情報
 - 2-2 会津坂下町洲走地区 基本情報

- 3 調査・視察
 - 3-1 調査項目
 - 3-2 視察スケジュール
 - 3-3 視察内容
 - 3-4 調査結果

- 4 課題と提案
 - 4-1 会津坂下町洲走地区の課題点
 - 4-2 私たちの提案

- 5 プレイベント
 - 5-1 プレイベント概要
 - 5-2 目的
 - 5-3 準備内容
 - 5-4 成果
 - 5-5 反省点

- 6 今年度の活動反省
- 7 来年度への活動提案
- 8 最後に
- 9 御礼

1 私たちの団体について

1-1 宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 宮原ゼミ COLORS

私たちは宮原ゼミに「所属する4人と指導教員である宮原育子で構成されたチームです。私たちのゼミナールでは、地域資源を生かした地域振興や観光ツアーの造成、商品開発などを行っています。これまで様々なコンテストや事業へ応募・参加させていただき、宮城県制 150 周年をきっかけに開催された「宮城県魅力発見プランコンテスト」では 2 チーム入賞、「仙台市交流人口ビジネスコンテスト」ではアイデア部門大賞をいただきました。また、東日本大震災からの復興へ思いを込めて設立された株式会社東北協同事業開発さんのブランド「古今東北」にて新商品の開発、オリジナルレシピの考案を行っています。

1-2 応募理由

応募理由は主に 2 点あります。

1 点目は、約2年間のゼミ活動で様々な事業やコンテストへ参加してきた経験を活かし、福島県の地域が持つ課題に少しでも貢献したいと感じたからです。具体的に、若い世代・女子大生という視点からSNS運用やデザイン力、これまでの活動を踏まえ企画に対する柔軟な発想力を持っているといった強みを活かしたいと考えました。

2 点目は、私たちの経験値向上につながると感じたからです。直接的に地域の皆様のお声を聞くことで課題をより鮮明に把握し、共に地域振興を行うことができるため、理解を深めながら活動を行えると考えました。

2 会津坂下町洲走地区

2-1 会津坂下町 基本情報

会津坂下町は会津地方に位置し、会津坂下町に隣接した、面積 91.59 km²、人口 15,068 人（2020 年 10 月 1 日）の自然豊かな町です。観光スポットとしては主に「べこの乳アイス牧場」があげられ、馬肉や桃、そば、りんご、冷やしラーメンなど美味しい名産物が豊富な町です。

2-2 会津坂下町洲走地区 基本情報

洲走地区は、年の平均気温が 11 度、夏は暑く一日の寒暖差も大きいことから、実が引き締まった糖度の高いりんごが育つ条件の揃った場所となっており、農家の方達が自信をもって送り出せるりんごが栽培されています。また、地元の方だけでなく県外からリピートされる方も多くいらっしゃるという「洲走の湯」が主に名所となっており、りんごの他にもお米や桃、そばの実などの栽培が盛んに行われている、持つスペックが非常に高い地域となっています。

3 調査・視察

3-1 調査項目

- ・会津坂下町洲走地区の現状と解決策の探索
- ・洲走地区の住民の皆さんの意見
- ・今後の方向性
- ・イベント開催による認知度拡大の可能性の調査

3-2 視察スケジュール

日程	内容
2023年7月10日	・顔合わせ ・話し合い(1) ・桃、りんご畑訪問
2023年8月6,7日	・夏祭りボランティア ・会津坂下流し踊り ・蕎麦打ち体験 ・会津坂下町観光スポット訪問
2023年8月22,23日	・話し合い(2) ・りんご畑撮影 ・洲走の湯訪問 ・蕎麦打ち体験
2023年8月27日	・道の駅あいづにて「そば祭り」ボランティア
2023年11月9日	・イベント前最終打ち合わせ ・りんご畑の撮影 ・地域の方々のコメント撮影

3-3 視察内容

私たちは上記のスケジュールにありますように合計5回会津坂下町洲走地区を訪問し、活動を行いました。この5回の活動について詳しく説明していきます。

①2023年7月10日

会津坂下町洲走地区との提携を組んですぐに、会津坂下町洲走地区の方々との日程を合わせ、訪問しました。私たちメンバー3名と指導教員で向かい、地区の方達は、洲走区長さんをはじめ地区の住民の皆さんや会津坂下町役場の担当の方々に集まってお話を聞きました。この日は洲走地区コミュニティセンターで洲走地区の現状をお聞きし、今後の活動の方向性について話し合いを行い、その後洲走地区内を見てまわりました。話し合いでは、役場の方からこの事業への応募理由や会津坂下町や洲走地区の人口や特産物等をお聞きしました。

洲走地区の住民の方々からは、どのように活動をしてほしいか、洲走地区の名産や良さを教えていただきました。そこで私たちが意見を出して、桃やリンゴなどの生産物を使用して認知度拡大を目指す方向性に決定しました。話し合い終了後はももやりんご畑を見せていただきました。一面に桃畑やりんご畑が広がっており、この光景に驚きました。

②2023年8月6,7日

8月6日は、会津坂下町の雰囲気を感じするために「ばんげ夏祭り」のボランティアを行いました。日中は、子供のくじ引きや射的、水遊びのコーナーでお手伝いを行いました。気温33度を超え、直射日光が当たるような場所で、とても大変でした。ですが、一緒にボランティアをしていた会津坂下町の中高生から地区の暖かい雰囲気を感じることができ良い経験になりました。ボランティア終了後は、会津坂下町政策財務課の皆さんの流し踊りの決起集会に参加し、一緒に夕食をいただきました。会津の名物である日本酒や馬刺し、会津坂下町の名物冷やしラーメンをご馳走になりました。その後は、会津坂下夏祭りの目玉である流し踊りに会津坂下町役場の一員として参加させていただきました。流し踊りとは坂下音頭と会津磐梯山という曲に合わせて通り歩きながら踊るもので、コロナ禍以降4年ぶりに開催されたものです。会津坂下町役場の方達に踊りを教えていただきながら楽しみながら踊ることができました。町の一員として認めていただけたような気分になり、とても嬉しかったです。その後は、会津坂下町が所有するお試し住宅に泊まりました。

次の日は、洲走地区で加藤そば道場を営んでいる加藤様から蕎麦を味わって見てほしいとのことで、蕎麦打ち体験をさせていただきました。蕎麦打ち体験自体初めての経験で、生地を伸ばすのがとても難しかったです。蕎麦は風味が良く細めの麺でするする食べやすいと感じました。蕎麦打ち体験終了後は、会津坂下町役場の政策財務課の方々、会津坂下町の観光スポットを案内してくださいました。会津木綿のお店や「べこの乳アイス牧場」などを訪れました。またこの時期はちょうど桃の収穫時期で、区長さんから大量の桃をお土産にいただきました。家に帰ってからいただいた桃を食べてみたら、すごく甘くジューシーで美味しかったです。

この二日間で、洲走地区だけではなく会津坂下町のことも詳しく知ることができたのではないかと感じました。また、それ以上に会津坂下町役場の私たちを担当して下さる政策財務課の皆様と関係を構築できた良い機会でした。

③2023年8月22,23日

この日にやっとチーム全員で洲走地区を訪れることができました。22日は、7月10日にお会いした地区の方々だけではなく、初対面の洲走地区の方々や役場の方々と一緒に今後の活動について意見交換を行いました。ここで私たちが会津若松などの企業とコラボ商品を作るのはいかがでしょうかと提案しました。すると地区の住民の方達が「会津の人たちはみんな桃やりんごの良さを知っているから、知らない人たちに向けて伝えてほしい。あと加工して良さ

を伝えるのではなく、そのままの素材の味で伝えてほしい」という意見をいただきました。そこで、これから収穫時期を迎えるりんごを私たちの学校のある仙台で販売会を行うのはいかがでしょうかと話になりました。この日から会場の確保やイベントへの準備を開始しました。

23日は、朝からイベントの会場内で流す動画に使うのりんご畑の撮影を行いました。会津坂下町役場の方がドローンを貸し出してくださり、クオリティーのある映像を撮影することができました。その後は「洲走の湯」を訪問し、店主の方から洲走の歴史や全国各地から来てくださるリピーターがいることなどをお足させていただきました。訪問している際も毎日のようにいらっしゃるお客様がいらっしゃいました。実際に私たちも足湯を体験させていただいていたのですが、少し入っただけでスツキリし、肌が潤うような感じがし、気持ちよかったです。この洲走の湯も広めてきたいなと感じる機会となりました。その後は体験していないメンバーのために加藤そば道場の加藤さんが蕎麦打ち体験をさせていただきました。メンバーの個性が出る蕎麦の太さで、地区の皆さんと役場の方々と一緒に食事をすることができました。

③2023年8月27日

この日が加藤そば道場の加藤さんなど会津坂下町で蕎麦打ちをしている方々が道の駅あいつにて開催した「そば祭り」にて販売スタッフとしてボランティアを行いました。いつもお世話になっている会津坂下町役場の方々や洲走地区の方々もお客様としてきてくださり、一緒に販売した町の方々により中を深めるきっかけになりました。ここでより地区や地域の絆の深さに気づくことができました。

④2023年11月9日

洲走地区のりんごが収穫時期を迎えていたため、りんご畑の撮影をしに行きました。今回も役場の方からドローンをお借りして動画や写真の撮影、また収穫体験をさせていただきました。8月に見たリンゴとは違く、大きくて真っ赤なりんごがたくさん木になっていました。畑でりんごを食べさせていただいたのですが、蜜が詰まっっていてジューシーで甘くてとても美味しかったです。また、リンゴ農家さんにご協力を頂き、イベント当日に流す動画で使用する生産者の声を撮影させていただきました。りんごの撮影会の後に、12月9日りんご試食販売会の最終打ち合わせを行いました。販売する商品や値段、個数の最終決定を行いました。熊の影響で想定数よりも少ない数で決定しましたが、りんご農家さんたちも楽しみにしてくれていて、私たちも準備を頑張らなくてはいけないと感じました。

3-4 実態調査結果

現状としては、後継者不足や認知度不足が挙げられると感じました。また桃や蕎麦、りんごなど地域復興の目玉になるような特産物があり、地域の方々のこれらに対する熱意もすくある。そのため私たちがこれをうまく活用し、これを提供する場所、機会を儲けることによって認知度拡大や集落の活性化につながるのではないかと感じました。

4 課題と提案

4-1 会津坂下町洲走地区の課題点

課題点は主に3点あります。

1点目は、地域の魅力発信力や発信場所がないことです。現代はSNS社会であり、多くの情報は検索やSNSのツールを通じて取り入れられます。しかし、SNSの使い方や活用に関して詳しい知識を持つ人材がいないと感じたため、地域の持つ強みを地域外に伝えきれていないと感じました。

2点目は、認知度が低いことです。実際に私たち学生がこの事業に応募し、会津坂下町洲走地区と協働させていただくことが決まった際に「洲走」をいう地名を読むことができず、イベント開催日に行ったアンケート調査でも「読み方が分からない」「聞いたことがない」という方が多くいらっしゃいました。地域の持つ生產品の認知を拡大させることが地域をブランド化していく上で必要となるため、今後も施策が必要になる課題だと感じました。

3点目は、若い力が少ないことです。数回集落を訪問する機会があったのですが、私たちと同世代の方や、小さな子どもの姿を見ることがありませんでした。関わってくださった方は私たちより年齢が上の方が多くいらっしゃいましたが、誰よりも地域に対する愛や情熱があり心が若い方ばかりだと印象を受けました。しかし、地域を継続的に発展させていくためには、産業の担い手や後継者の存在が重要になると感じ、この地域に訪れたいと思っていただくためにも、まずは魅力発信を行うことが有効であると考えました。

4-2 私たちの提案

現地調査を通し、会津坂下町洲走地区の持つ強みは主に2点あると感じました。

1点目は地域の皆様のお人柄です。初めて集落を訪問した際、ユーモアな空間でとても温かく迎え入れて下さり、すぐに緊張がとけた印象があります。その後の活動においても、「遠いところからせっかく来たんだから！」と普段することのない収穫体験やそば打ち体験等をさせていただきました。皆様のお人柄や個性、地域のアットホームな雰囲気を知ってもらいたいと感じました。2点目は、桃やりんご、蕎麦、お米などの素材そのもののクオリティーの高さです。初めての訪問の時から、地域の皆様は「持っているもののポテンシャルが高い」と誇りを持っており、期待値が非常に上がっていたのですが、活動を踏まえ、その言葉の通りだと学生も自を持てる生產品が揃っていると感ずることができました。実際に購入させていただいたりんごは、甘さや食感が他の商品と食べ比べても段違いで、また食べたくなる味わいでした。このクオリティーの高い素材を、まずは加工することなく広めたいと感じました。

以上2点から、地域外の方へ会津坂下町洲走地区と生產品のクオリティーの高さという強みを認知してもらうために、仙台市の商業施設であるランチ仙台の施設内にあるまちづくりスポット仙台にて、「りんご試食・販売会」の実施を決定しました。

(会津坂下町洲走地区に近い場所で開催しても、地域の方々にとっては当たり前存在となって

いるため、学生が通う宮城学院女子大学がある仙台市で開催することとなりました。)

5 プレイベント

5-1 概要

私たちは宮城県仙台市泉区長命ヶ丘にある「ランチ仙台 まちづくりスポット仙台」という宮城学院女子大学から近い場所にある商業施設で12月9日に『会津坂下町洲走地区りんご試食会・販売会』を開催しました。開催時間は10:00～15:30で、販売商品は①ふじりんご②訳ありりんご詰め放題③リンゴジュース④りんごジャムの4点を販売しました。

①のふじりんごは1玉100円で蜜が入り甘味が強く、食感が大変優れた品種であり、甘くてとてもジューシーな味わいが特徴の商品です。②の訳ありりんご詰め放題は1回500円で販売できないようなりんご詰め放題を行いました。③のリンゴジュースは1瓶700円(1L)でりんごを100%使用した贅沢なジュースで、とても濃い自然な甘さが特徴の商品です。④のりんごジャムは1瓶400円で果肉の赤いりんごを使用し、着色料を使用していなくても鮮やかな赤色をしたジャムです。

その他のブースではアンケートの実施、生産者さんの声や洲走地区の自然環境等の集落の魅力を詰め込んだPR動画(別紙3)を作成し、会場内で放映しました。また、りんごの他にも様々な魅力のある場所であることを知ってもらうため、パンフレットやお取り寄せの案内等のチラシを紹介する会津坂下町紹介ブースを設置しました。

イベントを開催するにあたってチラシの作成、長命ヶ丘地区の回覧板に作成したチラシを挟む、地域の掲示板にポスターを掲示するなどの近隣住民への宣伝を行いました。他にも学校内にポスターを掲示、ランチ仙台とまちづくりスポット仙台でのポスター掲示とチラシによる宣伝、まちづくりスポットのInstagramやホームページにもチラシの掲載をしていただきました。

5-2 プレイベント目的

このイベントを開催した目的として洲走地区のりんごを多くの方に知ってもらい、まだ広く知られていない、洲走地区が秘めている魅力をアピールする機会を作り、認知度拡大に貢献したいという考えがありました。

私たち自身、会津坂下町洲走地区を知らなかったこと、洲走地区の高齢化などの現状を見て、今回のイベントを開催することで少しでも洲走地区に興味を持ってもらい、実際に洲走地区に足を運んでみたいと思うきっかけになってほしいという思いのもと開催しました。

また、場所を仙台市にした理由としては、会津坂下町洲走地区に近い場所で開催しても、地域の方々にとって洲走のりんごはすでに当たり前の存在となっているため、もっと色んな人に知ってもらいたいという洲走地区の方々の思いから学生が通う宮城学院女子大学がある仙台市で開催することとなりました。

5-3 準備物

出来事	詳細
8月 22・23 日 3 回目訪問	今後の方向性について地域の方々と話し合い、イベント開催を目的とすることになりました。
9 月～11 月 イベント準備	会場確保やポスター作成(別紙1,2)、洲走地区の PR 動画作成を行いました。ポスターは宮城学院女子大学、地域の掲示板、ランチ仙台とまちづくりスポット仙台でのポスター掲示による宣伝をしました。
11 月 9 日 5 回目訪問	りんご畑の撮影やイベントの最終打ち合わせを行いました。価格や販売商品を決定させました。
11 月～12 月 9 日まで 最終準備	最終打ち合わせ後はアンケートの作成、会場の担当の方とレイアウトなど当日の動きの相談、販売商品の決定などを行いました。

5-4 イベント成果

販売結果は、りんご 993 個とりんごジャム 20 瓶を完売、訳ありりんごの詰め放題は41セット、リンゴジュースは 20 本中 13 本販売する事ができました。

また、ご購入いただいたお客様に4つのアンケートに答えていただきました。

① 会津坂下町を訪れた事がありますか？

はい 36.4% いいえ 63.6%

② 試食したりんごはどうでしたか？ 今までで一番美味しかった

今までで一番美味しかった 16.9% 美味しかった 71% 普通 12.1%

③ 今日は何を見てご来場されましたか？

チラシ 43.3% ホームページ 7.5% たまたまやっていたから 45%

④ 次回開催された場合またきたいと思いませんか？

はい 100%

5-5 反省会

イベント当日の試食会では最初皮を剥かず、またりんごの変色を避けようと塩水につけて提供していたのですが、アンケートに答えてくださった方々にその 2 点を指摘され、味がよくわからなかったというご意見を多くいただきました。試食会をするのなら、どのような形で提供するかなどの相談をしっかりとすべきだったと思いました。

また、なんで会津坂下町の洲走地区と宮城学院女子大学がコラボしているの？などと質問される事が多くありました。イベント開催にあたって、ただ魅力発信や認知度拡大のための活動をするだけでなく、出会いのきっかけやどのような経緯を経てイベント開催に至ったのか

というところまで伝えることも、興味を引く要因になると学ぶ事ができました。

6 今年度の活動反省

今年度の活動は集落の皆様との関係構築、イベント開催に向けた準備となりました。その中で足りなかったと感じたことは、現地調査をボランティア活動などで集落を何度も訪問し関係構築できたことは良かったですが、他の住民の方々との関わりが少なかつたため、その機会を設けることができたら良かったということです。顔なじみの皆様との関わりが多く、集落に住む他のの方々へ挨拶をする時間がなかつたため、コミュニティを増やし、より多くの意見や情報交換の場を作りたいと感じました。

チームの課題としては、スケジュール管理不足が挙げられます。チームメンバー4人が揃って訪問できた回数がなかつたため、お互いの都合をつけ全員で訪問できる機会を増やしたいと感じました。

7 来年度への活動提案(実態調査から得られた活性化策の効果及び改善点)

テーマ:「洲走地区来はらんしょ！」

このテーマの意味は、「洲走地区へどうぞお越しください」です。魅力あふれるこの地域を訪れたくなるような以下3点の取り組みをしたいと考えております。

1 点目は、イベントの定期的な開催です。今回実施した「りんご試食・販売会」に来て下さった方から、「次の開催はいつ?」といった声や、アンケート調査から「次回開催時に来たい」といった結果が多く出たことから、認知度拡大や魅力発信の場として効果的であったと感じたため、来年度以降も定期的にイベントを開催し、リピーターの創出を目指したいと考えております。

2 点目は、洲走地区×仙台市の企業の探索です。洲走地区が持つクオリティーの高い生産品と仙台市の企業さんとのコラボ商品を実現することができたら、イベント開催だけでは集客できない方へも名前を知ってもらえる機会になると考えました。現在、2つの企業さんへお声がけをしており、コラボ商品開発の実現に向けて、今後話を詰めていきたいと考えております。

3 点目は、訪問型イベントの開催の可能性を探ることです。洲走地区に実際足を運んでいただき、収穫体験等の農業イベントの開催を目指しています。肌で洲走地区の空気や地域の方々のお人柄、地域の持つポテンシャルの高さを感じてもらうことが地域活性化につながると感じたためです。食だけではなく、「洲走の湯」という県外からのリピーターさんも多くいる温泉もあり、この温泉も組み込んだツアーのような形を提案したいと考えております。外からの訪問による認知度拡大・魅力発はもちろん、それ以外の効果として、生産者の皆様のモチベーション向上や、地域に対する刺激にもなると感じるため、実現の可能性を見出していきたいです。

8 最後に

今回の活動を通じ、高齢化や過疎化、産業の担い手不足を抱える地域に対し、私たち大学生が貢献できることは数多くあると確信することができました。新たな事業を生み出すことや、地域課題解決のために提案をすることはもちろんですが、私たちの存在をありがたく思っただけでと知り、現地調査やボランティア活動などで地域に足を運ぶだけでも十分活性化に近づけるのだと感じることができ、大変嬉しく思いました。今後も継続的に活動続けることには地域の皆様と深い関係性を構築することが必要不可欠であり、今回繋いでいただいたご縁を大切にしながら、活動を続けたいと考えております。

来年度以降は次の代へ活動主体を移していくことになると思いますが、この集落のためになる有意義な活動、そして今年度以上の成果を残せるよう尽力させていただきます。

9 御礼

今回、私たちの活動にご協力いただいた、会津坂下町役場政策財務課の皆様、会津坂下町洲走地区の皆様、本当にありがとうございました。

学生だけでは実現できなかった現地調査やイベント開催に関して、ご意見やお力添えいただき、大変貴重な経験をすることができました。

今後とも、長い関係を構築していきたいと思っております。来年度以降もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(別紙1) ポスター
表

福島県 大学生と集落の協働による地域活性化事業

宮城学院女子大学 現代ビジネス学科  × 福島県会津坂下町洲走地区
—宮原ゼミ COLORS

会津坂下町 自慢のりんごを皆様へ

会津坂下町洲走地区
りんご
試食・販売会

2023,12,09(土)
10:00~15:30

📍 ブランチ仙台 WEST1階
まちスポ仙台交流スペース

(別紙2) ポスター

裏

寒暖差を生かしたとても美味しいリンゴ
「一番美味しいりんご」私たちが保証します。

会津坂下町洲走地区 美味しいリンゴ

福島県 会津坂下町

宮城学院女子大学 宮原せり

会津坂下町のりんご農家の方々

宮城学院女子大学と洲走地区の出会い
福島県が主催する「大学生と集落の協働による地域活性化事業」にて
地域を活性化したい宮学生が会津坂下町の魅力を知ってもらいたい洲走地区の方々との出会い、
一緒に活動をしています。

料金
1玉 100円
傷ありリンゴの販売も予定しております
※りんごはなくなり次第終了となります
お早めにお越しください☆

販売品種
●ふじ
蜜が入り甘みが強く、
食味は大変優れた品種。
甘くてとてもジューシー。
●玉林
酸が少なく、
甘さが強い品種。
独特の甘い芳香がある。

アクセス

https://maps.app.goo.gl/hTLnTkrmBYVZJ2VuB9g_st=it

宮城学院女子大学 宮原研究室 ☎ 022-277-6228
<https://www.machikposenda.com/event/spase/231205.html>

(別紙3)

P R 動画視聴 URL

<https://youtu.be/qt1JSY0EOZ4>